

情 報 公 開 文 書

| | |
|-------------------------------|--|
| 研究の名称 | 顎口腔領域への転移性腫瘍の多施設共同後ろ向き観察研究 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 (所属・氏名) | 歯科口腔外科 山田慎一 |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】 2008年1月1日～2022年3月31日までの期間に本研究参加施設を受診した顎口腔領域への転移性腫瘍患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 近年における転移性腫瘍の疫学的調査を行い、予後等を明らかにすることは超高齢化社会におけるがん治療の治療方針の検討などにおいて有益であると考えられます。</p> <p>【研究の方法】 診療録を用いて遡及的に背景因子、予後を抽出し、そのデータをもとに全生存率（期間）を検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2024年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 関連する学会や英文誌に発表を行います。</p> |
| 研究に用いる情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無） | 対象期間の口腔癌一次症例数、性別、初診時年齢、原発部位、病理組織学的診断（原発巣）、顎口腔領域の転移部位、顎口腔領域以外の転移部位、臨床症状、Numb chin syndromeの有無、治療法（原発巣・転移巣、分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬の使用）、顎口腔領域への転移確認までの期間、転帰（原発巣、転移巣の制御）初診日、最終確認日 これらの情報は、研究代表機関に送付されます。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 長崎大学/梅田正博、神戸大学/長谷川巧実、信州大学/近藤英司、広島大学/小泉浩一、済生会松坂総合病院/大倉正也、奈良県立医科大学/桐田忠昭、東海大学/太田嘉英、福井大学/吉村仁志、新潟大学/富原 圭、関東労災病院/堀江彰久、静岡市立静岡病院/大山巖雄、日本歯科大学/猪俣 徹、名古屋市立大学/石橋謙一郎、北海道がんセンター/秦 浩信、北海道がんセンター/林 信、徳島大学/山村佳子、北海道大学/大廣洋一、愛媛大学/合田啓之、慶応義塾大学/蒔生田整治、鹿児島市立病院/新田哲也、長野市民病院/西村允宏、長野赤十字病院/傳田祐也、伊那中央病院/梶原 稜、兵庫医科大学/野口一馬、大阪公立大学/中原寛和、山口大学/三島克章、和歌山県立医科大学/松村達志 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名） | 山田慎一（富山大学附属病院歯科口腔外科 准教授） |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | <p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7383 FAX 076-434-5041 E-mail shinshin@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 歯科口腔外科 山田慎一</p> |